

【月案】 7月・2歳児

今月の保育のポイント

- 体力がついて一人ひとり活発に遊ぶが、自分の体力を把握できてはいないので、休憩や水分補給は保育者が子どもを観察して声をかけるようにする。
- 全身を活発に動かせ、夏を感じられる水遊び等を用意し、子どもがダイナミックに夏の遊びを楽しめるようにする。
- 一人ひとりの排尿感覚を知り、活動の合間にトイレを促し、排泄するリズムを援助する。
- 汗をかいたあと、新しい服に着替える気持ち良さを伝えながら、着脱を見守る。
- 夏の暑さから食欲が減退する子どもも予想される。出来るところまで自分で食べようとする姿を認め、子どもにとっての食事を楽しいものにする。
- 七夕などの文化的な夏の行事、風鈴や虫の音に触れ、楽しかった思い出に加え、夏の雰囲気、視覚的、聴覚的に子どもの心に残るような行事設定をする。

月のねらい

- 暑さに負けないように気をつけながら、元気に過ごす。
- 保育者や友達と一緒に遊びを楽しむ。
- 水や泥の感触を楽しみ、夏ならではの遊びで思いっきり遊ぶ。
- 夏季の衛生状態や健康状態に留意し、心地よく過ごせるようにする。
- 夏の自然に興味を持ち、触れて遊ぶことを楽しむ。
- 自分の思いを言葉や態度で素直に表現する。

週のねらい

その1

- 1週目：七夕を知り、行事に喜んで参加する（教育）
- 2週目：友達と関わりながら遊ぶ楽しさを味わう（教育）
- 3週目：水や泥に触れ、楽しく遊ぶ（教育）
- 4週目：夏の食材や生き物に親しみ、自然に興味を持つ（教育）

その2

- 1週目：健康に留意し、ひとりひとり夏を元気に過ごせるようにする（養護）
- 2週目：水の心地良さを感じ、様々な形で水遊びを楽しむ（教育）
- 3週目：体調に配慮しながら、活動の合間に適切に水分補給など休息を取る（養護）
- 4週目：保育者や友達と、夏の遊びを楽しむ（教育）

その3

- 1週目：夏の行事に参加したり歌をうたったりしながら夏の雰囲気を感じる（教育）
- 2週目：栄養や休息をとりながら、夏の季節を健康に過ごせるようにする（養護）
- 3週目：保育者や友達と簡単な言葉でやりとりすることを楽しむ（教育）
- 4週目：保育者の見守りや援助のもと、衣服の着脱を行おうとする（養護）

その4

- 1週目：言葉や行動で自分の思いを伝える喜びを感じる（教育）
- 2週目：安全な環境の中、水遊びを楽しめるようにする（養護）
- 3週目：トイレで排泄する喜びを感じる（養護）
- 4週目：様々な遊びに興味を持ち、好きな遊びを楽しむ（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 衣類の着脱に興味を持ち、自分でやろうとする子どもが増えてきた。服の前後や靴下のかかとの位置には気が向かないため、前後は逆さまになってしまうこともある。「自分で！」が増え、保育者の援助を拒む姿も見られる。必要に応じて気づかれないように援助をすることで、自分でできた満足感を存分に感じている。
- 「かして」「いいよ」「やだ」など簡単な言葉を使おうとする姿も増え、意欲的に発言する姿が見られる。
- 保育者と一緒に手洗いうがいを行うことを喜び、自ら袖をまくろうとしたり石鹸をつけたりする子どもが増えてきた。一方で、水に触れることを喜び、鏡を濡らしたり洗面台の周りに水をこぼしたりして遊んでしまう子どももいる。
- 体力もついてきて、午睡の際にはなかなか眠れない子どももいる。保育者と一緒にゆったりした時間を過ごすことで、その子のペースで眠りにについている。
- 保育者の挨拶に対して「おはよう」「バイバイ」と挨拶を返す。
- 蒸し暑くなり、汗をかくことが増えた。保育者と一緒に着替えをしたりシャワーを浴びる。
- 自分から尿意を伝えられる時もあれば、遊びに夢中になっていると「行かない」「出ない」と言い漏らしてしまうことがある。
- 友達が褒められている場面だと「〇〇も」「見てて」と言葉にしたり、意欲的に行動する姿が見られている。
- 保育者と一緒に夏野菜に水をあげることを喜ぶ。

教育（遊び）

- ブロックやボール、人形などそれぞれの好きなおもちゃを使いながら、好きな遊びを繰り返し楽しんでいる。また、友達が遊んでいるおもちゃにも興味を持ち、近くで眺めたり一緒に遊ぼうとすることも増えてきた。
- 保育者が一緒に遊びを行うと、とても嬉しそうにしている。「おもしろいね」「もう一回」など積極的に簡単な言葉でやりとりをする子どももいる。
- 曲を流すと喜び、リズムに合わせて思い思いに身体を揺らしたりダンスしたりして楽しんでいる。また、触れ合い遊びにも喜んで参加し、保育者に全身を預けて甘える姿も見られる。
- 虫歯予防デーでは、製作を楽しんでおり、歯を磨く真似をしながら「ゴシゴシ」と言ったり「（バイキン）バイバイ」と手を振ったりしていた。
- 戸外遊びにも意欲的な子どもが多く、砂場で遊んだり滑り台をしたりしている。虫にも興味を持つが、触るのが怖く身構えている姿が見られる子どももいる。
- 語彙が増えてきており、保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ様子が見られている。
- 友達との関わりが増えてきて楽しむ一方で、玩具を巡ってトラブルになることもある。
- 簡単な集団遊びを楽しんでいた。ルールを理解している子と友達の様子に合わせて動いている子がいる。

- お絵描きでは腕をダイナミックに動かして描く子、丸を描けるようになった子、「○○だよ」と見立てる子がいる。
- 雨の日に戸外で散策することを喜び、水たまりに入ったり、手で雨に触れようとする様子が見られていた。

活動内容（五領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活**：スプーンの持ち方を気にしながら、食事を進めようとする。（健康）
環：スプーンの持ち方は繰り返し伝え、子ども自ら気をつけられるようにしていく。何度も声をかけたり無理強いせず、子どもの興味が湧くように適宜声をかけるように注意する。
- **活**：身の回りのことを、自分で意欲的にする。（健康）
環：衣類の着脱や手洗いなど子どもが意欲的にやろうとしている時には時間をかけて見守り、手伝いすぎないようにする。衣類の前後が逆になったり服が濡れたりすることもあるが、意欲を認め「自分でできた」という自信がつくように援助する。
- **活**：保育者に見守られながら、一定時間、安心して眠る。（健康）
環：午睡の際にはなかなか寝付けない子どももいるが、一人ひとりのペースを知り、心地よく眠れる時間を把握していく。
- **活**：排尿後の後始末や、衣類の上げ下げを自分でしようとする。（健康）
環：排泄の際にはそれぞれの状況に配慮しながら、声かけや援助を工夫していく。
- **活**：手洗いうがいを丁寧にやる。（健康）
環：保育者が一人ひとりにつき、洗いきれなかったところを一緒に行き、綺麗になる経験を積む。
- **活**：汚れが顔に付着している時、一緒に鏡を見ながら綺麗になったことを確認する。（健康）
環：不潔の状態から清潔の状態になる心地よさを感覚と客観視で感じられるよう、丁寧に「ここにこれだけ汚れがあったね」等、伝えながら一緒にふき取る。
- **活**：経験したこと、日常のことを思い出し、言葉をやり取りして会話を楽しむ。（人間関係・言葉）
環：子ども達の言葉や思いを聞き、子どもの話したい伝えたい気持ちが満たされるようにする。しっかり子どもが話した後で保育者も話し、言葉のキャッチボールが楽しめるようにする。
- **活**：自らパンツが濡れたことや排泄したことを知らせ、トイレへ行く。（健康）
環：子ども一人ひとりの排尿間隔やしぐさを観察、理解しておき、その子に合った適切な対応ができるようにする。トイレでのマナー(順番を待っている友達がいること)なども伝えていく。
- **活**：保育者や友達と挨拶し合うことを喜ぶ。（人間関係・言葉）
環：保育者が笑顔で挨拶することで、挨拶しやすい雰囲気作りをする。「元気な挨拶だね」と認めることで挨拶をする喜びに繋げる。
- **活**：保育者の見守りのもと、着替えをしたり水分補給をして夏の時季を心地よく過ごす。（健康）
環：子どもの様子に応じて「汗をかいたから着替えよう」「お水飲んで少し休憩しよう」等と声がけしていく。嫌がる時は、「お洋服どれがいい」「お水屋さんですよ。いらっしやいませ」と言葉かけし意欲を引き出す。
- **活**：保育者に見て欲しいという気持ちが満たされ、意欲的に生活する。（人間関係）
環：しっかりと向き合って様子を見守り認めることで「見ててもらえた」という喜びや満足感、身の回りのことへの意欲に繋げていく。又、それを見ていた他児の気持ちも高まるよう関わっていく。
- **活**：自分の気持ちを簡単な言葉で伝え、安心した気持ちで過ごす。（言葉・表現）
環：「嫌だったね」「自分でやるのね」「嬉しいね」と気持ちを受け止めていく。気持ちが高ま

り手や口が出てしまうことがあるため、一旦気持ちを落ち着かせ気持ちを問いかけながら言葉で伝えられるよう関わる。

- **活**：苦手な食材も友達が食べる様子や保育者の励ましで食べてみようとする。（健康）
環：「○○食べると大きくなれるよ」「どっちだと食べられそう？」等と言葉かけして意欲を引き出したり、友達と一緒に食事をする事で影響を受け意欲に繋がるようにしていく。
- **活**：夏野菜のお世話をし、生長したり収穫することの喜びを感じる。（環境）
環：順番に野菜の世話をし「お世話をしてくれたから大きくなったね」と笑顔で認めることで嬉しさに繋げる。収穫をし、見て触れて食べる経験を通して身近な野菜に対する関心を高めていく。
- **活**：生活する中で「大きい」「小さい」の概念が分かり始める。（環境）
環：保育者が「大きいバスだね」「どっちが大きいかな」と大きさを比較するような言葉かけをしていくことで、大小に関する感覚を育てていく。
- **活**：食事や睡眠の様子を把握し、夏の時季を無理なく過ごせるようにする。（健康）
環：夏の暑さによる食欲低下や睡眠不足が予想されるため、食事を無理のない量に調節したり、心地よく眠れる室内環境を整えていく。又、遊びの時間とのバランスを考えながら無理のない生活を送れるようにする。

教育（遊び）

- **活**：保育者と一緒に水や泥に触れて楽しく遊ぶ。（人間関係）
環：泥に触れることを嫌がる子どもがいる時にはその気持ちも受け止め、少しずつ触れてみる事ができるように援助していく。保育者が実際に楽しむ姿を見せることで、興味が湧くようにする。
- **活**：セミやカブトムシ、ザリガニなどの夏の生き物に触れ、親しみを持つ。（環境）
環：ザリガニを見る際にはケガの危険もあるため見るだけにし、など生き物に応じて子どもへの紹介の仕方を工夫する。
- **活**：夏野菜や夏の草花などに親しみ、自然に興味を持つ。（環境）
環：年上の友達が育てた夏野菜を見せてもらい、野菜や自然になっているものに興味が湧くようにする。
- **活**：友達と一緒にプール遊びを楽しむ。（環境・人間関係）
環：水深や水温、子どもの体調を確認しておき、子どもの動きには特に注視しておく。
- **活**：リズム遊びなどを通して、歌や音楽に合わせて身体を動かす楽しさを味わう。（表現）
環：リズム遊びは繰り返し同じ曲で遊ぶことで、親しみが湧くようにしていく。様々な曲に合わせて身体を動かすことで、身体の使い方を知ることができるようにしていく。
- **活**：七夕飾りの製作を行い、行事に楽しく参加する。（環境・表現）
環：七夕飾りの製作では、少人数に別れて丁寧に援助できるように環境を整える。また、絵本や紙芝居などで分かりやすい話ができるように準備する。
- **活**：七夕の歌を歌ったり、紙芝居を見たりして楽しむ。（言葉）
環：天の川など、七夕の幻想的な雰囲気味わえるように保育室の環境を整えておく。
- **活**：保育士の動きを真似たり、曲に合わせて身体を動かすなどして楽しむ。（表現）
環：隙間時間でも楽しめるように、曲を準備しておく。友達との接触に注意しながらも、一緒に楽しさを共感していく。
- **活**：水の性質、心地よさを感じ、色々な形で水遊びを楽しむ。（人間関係・環境）
環：ペットボトルやシャンプーボトル等、水遊びのおもちゃをふんだんに用意しておき、子どもがしたい遊びを十分にできる環境を整える。
- **活**：積み木、ブロック、粘土などを使い、見立てて作ったりそれを使ったごっこ遊びを楽しむ。（表現）
環：子どもの好きな物を保育者も一緒につくっていき、遊びながら子どもがイメージする形を一緒に創造していく。

- **活**：走る・ジャンプする・階段をのぼりおりするなど全身を使って遊ぶことを楽しむ。（健康）
環：手を繋いで一緒にジャンプをしたり階段を上り下りする遊びを取り入れながら運動発達に繋がっていく。出来た喜びに共感しながら体を動かす楽しさに繋げる。
- **活**：保育者や友達と一緒に簡単なルールがある遊びを楽しむ。（人間関係）
環：保育者が楽しそうな姿を示すことで興味に繋げる。ルールを理解していなくても友達と一緒に遊ぶことを楽しむ様子も見られるため、楽しい気持ちを大切にしながら少しずつルールの理解に繋がっていく。
- **活**：プール遊びに着替えが必要であることが分かり、意欲的に衣服を脱ぐ。（健康）
環：「プールで何しようね」「楽しみだね」等と言葉かけしながら期待に繋げ、プール遊びの前には着替えの仕方を繰り返し伝えて理解に繋がっていく。自分でやろうとする意欲を大切に十分な時間を確保する。
- **活**：保育者や友達とお世話遊びやごっこ遊びを楽しむ。（人間関係・言葉）
環：「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」「ご飯ですよ」等と普段の生活で聞いたことがある言葉を使って関わることで、ごっこ遊びの楽しさや語彙の増加に繋がっていく。
- **活**：のびのびとお絵描きをしたり絵の具遊びをすることを楽しむ。（表現）
環：ダイナミックに描く姿や描いたものを何かに見立てる姿を大いに認めて表現の楽しさや想像力に繋がっていく。ボディーペイントを嫌がる時は、スポンジやスタンプ等を用意しておくことで無理なく遊べるようにする。
- **活**：水に慣れ、安心した気持ちで水遊びを楽しむ。（環境）
環：一人ひとりの様子に合わせて保育者が側で遊んだりプールを分けたり、タライや好きな水遊びの玩具を用意しながら安心した気持ちで水に触れられるようにする。
- **活**：保育者や友達の言葉に関心を持ち、言葉で返すことを楽しむ。（人間関係・言葉）
環：相手の話に聞こうとする姿を「聞いてくれてありがとう」「お話聞いてくれて嬉しい」と笑顔で認めていく。又、返答する時は、やりとりに繋がるような言葉かけをして会話の楽しさを感じられるようにする。
- **活**：絵本や紙芝居を見ることを喜び、台詞を真似することを楽しむ。（言葉・環境）
環：ゆったりと落ち着いた雰囲気の中で読み聞かせをする。好きな場面や台詞を繰り返すことで絵本の楽しさや語彙の増加に繋がっていく。又、遊びの中に取り入れることで、イメージを膨らませて遊べるよう関わる。
- **活**：指先を使い、折り紙を四角や三角に折り、身近な物に見立てて楽しむ。（健康・環境）
環：折り紙にマークを付けておき「丸と丸をペッタンするよ」「アイロンしよう」「お山の形にするよ」と分かりやすい言葉かけをしたり、必要に応じて手を添えて関わることで折り紙の楽しさに繋がっていく。
- **活**：年下の子の頭を撫でたり、手を繋いだりしてお世話しようとする。（人間関係）
環：年下の子に対する思いやりを笑顔で大いに認めていく。力加減が分からず、強い力になってしまうこともあるため、「優しくナデナデしよう」「ひっぱるとおてて痛くなるからね」と繰り返し関わり方を伝えていく。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 少しずつ体力がついてきて、活発に活動する時間が長くなっていくが、疲れも溜まりやすい。体調の変化が出たりよく眠れなかったりする時にはゆっくり過ごせるよう、一人ひとりの健康状態を把握する。
- 夏になり、水分補給や休息をこまめに行う必要があるが、子ども自ら把握するのは難しい。保育者が連携をとりながら、きちんと水分補給などできているか確認を行う。
- 虫刺されから肌疾患に繋がることもあるため、蚊が多い環境では虫よけスプレーを使用する。
- 安全な水遊びを行うため、職員間で話し合う。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- きんぎょうちわ製作／丸めてとうもろこし／プチプチスタンプのかき氷

歌

- たなばたさま／うみ／なみとかいから

絵本

- でんしゃ／カレーライス／どうぶつのおかあさん

手遊び

- サイダー／かきごおり／いわしのひらき

室内室外遊び

- ボール遊び／色水遊び／テントウムシと棒で

行事

- 海の日（第3月曜）
- 七夕（7/7）
- ひまわりの日（7/14）
- 幽霊の日（7/26）
- 土用の丑の日
- 水遊び
- 避難訓練
- 誕生会
- 身体測定

食育

- 鉛筆持ちでスプーンが持とうとする。
- 自分で意欲的に何でも食べる。
- 夏野菜に触れ、食材に興味を持つ。
- 自分達が育てた夏野菜を収穫し、食べることを楽しむ。
- 夏の疲れを考慮しながら無理なく食べ進める。
- 食事をする時の座り方が分かる。

地域と家庭との連携

- 水遊びや泥遊びをする際には事前に知らせ、汚れても良い服を持ってきてもらえるようにする。また、洗濯物などに協力してもらえよう願います。

- 汗をかく時期なので、着替えを多めに準備してもらおう。
- 安全にプール遊びができるよう、毎日の健康状態を連絡帳に記入してもらえるようお願いする。
- 感染症（とびひ、手足口病、結膜炎など）について掲示し、体調の変化について家庭と密に連絡を取るようになる。
- 排尿の間隔が長くなってきたりタイミングが整ってきた子どもがいれば、パンツの準備や多めに替えのパンツを持ってきてもらえるようお願いする。
- 虫よけスプレーを使用しても良いか確認を取る。
- 七夕に向けて、家庭で短冊をお願いごとを記入してもらえるよう協力を得る。
- 夏の暑さによる疲れや体調の崩れが出てくる時期のため、家庭でもゆっくりと休んでもらえるよう声がけする。
- 遊びの様子や友達との関わり、食事の様子等丁寧に伝えて安心感に繋げる。
- 地域内の感染症発生状況について把握しておく。

自己評価

- 正しいスプーンの持ち方に興味を持ち、子ども自ら持ってみようとしていたか。
- 排泄の際には自ら衣類を上げ下げしようとする姿が見られたか。
- 七夕飾りを楽しく製作し、行事に喜んで参加できたか。
- 保育者や友達と一緒に、水や泥に触れて楽しく遊べたか。
- 個々のペースに合わせて一定時間心地よく眠ることができたか。
- 生き物や植物に触れ、夏の自然に興味を持っていたか。
- リズム遊びを喜び、音楽に合わせて身体を動かすことを楽しめたか。
- 夏の時季の健康に留意しながら元気に過ごせるよう関わったか。
- 子どもが安心して自分の気持ちを言葉で伝えられるよう援助したか。
- 友達と一緒に遊ぶことを楽しめたか。
- 夏の遊びを存分に楽しめるよう計画したか。
- 担任間で話し合い、安全なプール遊び・水遊びができるようにしたか。
- 夏野菜を収穫し、見て触れて食べることを通して身近な野菜に対する関心を高められたか。
- 水遊びの用意や着替え、短冊の協力等、保護者に分かりやすく伝えたり協力を感謝したか。